



## 平成31年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成30年10月26日

上場会社名 株式会社スペースシャワーネットワーク 上場取引所 東  
 コード番号 4838 URL <http://www.spaceshower.net/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 近藤 正司  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 北島 直樹 TEL 03-3585-3242  
 四半期報告書提出予定日 平成30年11月8日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成31年3月期第2四半期の連結業績（平成30年4月1日～平成30年9月30日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
31年3月期第2四半期	7,385	△3.4	237	△51.6	239	△52.1	157	△53.0
30年3月期第2四半期	7,646	6.9	490	52.9	500	48.4	335	58.7

(注) 包括利益 31年3月期第2四半期 157百万円 (△53.0%) 30年3月期第2四半期 335百万円 (58.9%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
31年3月期第2四半期	13.93	—
30年3月期第2四半期	29.64	—

(参考) 持分法投資損益 31年3月期第2四半期 △6百万円 30年3月期第2四半期 0百万円

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
31年3月期第2四半期	8,072	4,442	55.0
30年3月期	8,045	4,398	54.7

(参考) 自己資本 31年3月期第2四半期 4,442百万円 30年3月期 4,398百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
30年3月期	—	0.00	0.00	10.00	10.00
31年3月期	—	0.00			
31年3月期(予想)			0.00	10.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成31年3月期の連結業績予想（平成30年4月1日～平成31年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	15,000	△0.6	347	△41.2	370	△41.9	231	△30.6	20.39

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無  
新規 ー社 (社名) ー、除外 ー社 (社名) ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	31年3月期2Q	11,330,800株	30年3月期	11,330,800株
② 期末自己株式数	31年3月期2Q	3株	30年3月期	ー株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	31年3月期2Q	11,330,799株	30年3月期2Q	11,330,800株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績は、今後様々な要因によって大きく異なる可能性があります。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(追加情報)	10
(セグメント情報)	11

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、堅調な企業収益や、雇用環境改善の維持などを背景として、引き続き緩やかな回復基調で推移いたしました。日本各地における豪雨や地震など、増加傾向にある自然災害の影響や、米国の通商政策に端を発する貿易摩擦による世界経済への影響懸念など、先行きの不透明感も強まっております。

また、当社グループの事業に関連する、放送、音楽、エンタテインメントの各業界においては、市場環境や消費者ニーズが急速に変容を遂げております。とりわけ、デジタル化やグローバル化の進展に伴う事業環境の激変は、当社の既存ビジネスである有料放送事業や音楽CD/DVD販売事業においても大きな影響を及ぼしつつあります。

こうした環境の下、当社グループでは、創業以来行ってきた音楽映像コンテンツの企画制作及び有料多チャンネル放送プラットフォームにおける音楽専門チャンネルの運営をベースとしつつ、ライブイベント展開、デジタルコンテンツ制作や各種デジタルサービス展開、音楽レーベルからアーティストマネジメントに至る展開まで、当社グループが有するあらゆる機能を複合的に活用しながら、多様なメディア・コンテンツ事業を展開し、総合音楽エンタテインメント企業へと事業転換を図ってまいりました。また、ファンクラブ事業を展開するコネクトプラス㈱、コンセプトカフェ運営を行うインフィニア㈱、映像制作プロダクションの㈱セップ、老舗インディーレーベル運営の㈱Pヴァイン等、これら連結子会社とともに、新たな分野での成長施策の推進、事業領域の拡大に向けた企業グループ経営を推進しております。

当第2四半期連結累計期間においては、毎夏恒例となる当社主催野外ライブイベント「SPACE SHOWER SWEET LOVE SHOWER 2018」を、8月31日～9月2日の3日間で開催。昨年に続き入場チケットが早期完売となり、過去最高となる約7万5千人を動員するなど、成功を収めました。

また、2018年7月に、インフルエンサーを活用したメディアプロモーションを中心に、インフルエンサーのマネジメントやWeb動画制作等を手がけるGROVE㈱へ出資参画、持分法適用関連会社化いたしました。今後、GROVE㈱の持つSNSマーケティングのノウハウや機能を利活用することで、当社を取り巻く事業環境の変化への対応速度を速めるべく、デジタル領域におけるマーケティングの強化を企図するとともに、SNSから新たなコンテンツIPを開発すべく、検討を進めております。

一方で、音楽ソフト関連においては、CD/DVDパッケージ商品販売市場の縮小や、デジタル音楽配信市場における、定額聞き放題のサブスクリプションサービスの拡大に伴う、アラカルトダウンロード販売の急速な減少といった市場環境の変化に加え、対前年同期比でヒットタイトル数が減少したことなどにより、低調な推移となりました。引き続き、ヒットの創出に向けた取組を推進してまいります。

これらの取り組みの結果、売上高は7,385,910千円と前年同期比260,375千円減（同3.4%減）となりました。また、これに伴い、営業利益は237,163千円と前年同期比253,275千円減（同51.6%減）、経常利益は239,800千円と前年同期比261,011千円減（同52.1%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は157,875千円と前年同期比178,020千円減（同53.0%減）となりました。

セグメント別の業績は次のとおりであります。

## ①メディア・コンテンツ セグメント

当セグメントにつきましては、音楽チャンネルの運営を中心に関連イベントやコンテンツプロデュースを展開するSPACE SHOWER TV事業、アーティストマネジメントからレーベル及びディストリビューションまでアーティストビジネスを360度展開するSPACE SHOWER MUSIC事業、音楽周辺のポップカルチャー領域を開拓するSPACE SHOWER ENTERTAINMENT事業及び「WWW」「WWW X」を運営するライブハウス事業の4つの事業ユニットを中心に、連結子会社㈱Pヴァインのレーベル事業、コネクトプラス㈱のファンクラブ事業、インフィニア㈱のコンセプトカフェ事業等を加えて、各事業分野の成長施策の推進にあたっております。

SPACE SHOWER TV事業においては、当社主催イベント「SPACE SHOWER SWEET LOVE SHOWER 2018」が、前年に引き続き過去最大の動員を達成したことや、有料放送収入におけるスカパー！サービスの「スペースシャワーTV」「スペースシャワーTVプラス」両チャンネルで配分単価が前年同期比で上昇したことなどにより売上高は増加しましたが、デジタル動画配信サービスや新規事業への先行投資コストが増加したことにより前年同期比で減益となりました。

SPACE SHOWER MUSIC事業においては、定額制音楽配信サービスの普及に伴いデジタル配信収入が増加したものの、楽曲のヒットタイトル数が減少したことにより、パッケージ販売収入が減少し、前年同期比で減収減益となりました。

その他、インフィニア(株)が運営する「@ほお〜むカフェ」につきましては、引き続き好調な集客により、売上高、経常利益ともに前年同期を上回りました。

この結果、当セグメントの売上高は 6,808,403千円と前年同期比 194,237千円減(同 2.8%減)となり、経常利益(セグメント利益)につきましても 250,875千円と前年同期比 227,365千円減(同 47.5%減)と減収減益となりました。

#### ②映像制作 セグメント

当セグメントにつきましては、大型LIVE映像制作の受注が減少したことなどにより、売上高は 577,507千円と前年同期比 66,137千円減(同 10.3%減)となりましたが、利益率が向上したことにより、経常利益(セグメント利益)につきましては 27,638千円と前年同期比 199千円減(同 0.7%減)と前年同期とほぼ同水準の結果となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### 資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、主に受取手形及び売掛金が 233,446千円、仕掛品が 130,135千円、投資有価証券が 97,642千円、建設仮勘定が 94,400千円、その他(流動資産)が 57,233千円増加した一方で、現金及び預金が 524,468千円減少し、減価償却累計額及び減損損失累計額が 69,492千円増加したことなどにより、前連結会計年度末に比べ 26,437千円増加し、8,072,091千円となりました。

負債につきましては、主に買掛金が 174,927千円、未払金が 85,347千円増加した一方で、賞与引当金が130,462千円、未払法人税等が 77,392千円、その他(流動負債)が 46,724千円減少したことなどにより、前連結会計年度末に比べ 18,128千円減少し、3,629,107千円となりました。また、純資産は利益剰余金が前連結会計年度末に比べ 44,567千円増加したことなどにより、4,442,983千円となりました。

#### キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における連結ベースの現金及び現金同等物(以下「資金」という)は、527,468千円の使用となり、資金の四半期末残高は、2,321,031千円となりました。これは、営業活動により 232,796千円、投資活動により 176,472千円、財務活動により 118,203千円使用したことによるものであります。

##### (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動による資金の使用は、232,796千円(前年同期は 8,012千円の獲得)となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益により 239,800千円、仕入債務の増加により 174,927千円、減価償却費の計上により 69,680千円獲得した一方で、売上債権の増加により 233,446千円、法人税等の支払により 165,778千円、たな卸資産の増加により143,330千円、賞与引当金の減少により130,462千円、その他の流動負債の減少により102,754千円使用したことなどによるものであります。

##### (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動による資金の使用は、176,472千円(前年同期は 153,769千円の使用)となりました。これは主に、投資有価証券の取得により 113,980千円使用したことなどによるものであります。

##### (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動による資金の使用は、118,203千円(前年同期は 128,697千円の使用)となりました。これは、主に、配当金の支払により 113,308千円使用したことなどによるものであります。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績につきましては、概ね予想通りに推移しており、平成30年4月27日に発表いたしました業績予想に変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成30年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,916,646	2,392,177
受取手形及び売掛金	2,109,022	2,342,469
商品	233,763	244,384
仕掛品	176,614	306,750
貯蔵品	7,367	9,941
その他	177,757	234,990
貸倒引当金	△54,335	△52,215
流動資産合計	5,566,834	5,478,496
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	1,213,027	1,226,791
機械装置及び運搬具	41,955	41,955
工具、器具及び備品	537,190	545,294
土地	72,455	72,455
建設仮勘定	—	94,400
リース資産	264,532	264,532
減価償却累計額及び減損損失累計額	△1,181,977	△1,251,469
有形固定資産合計	947,185	993,960
無形固定資産		
のれん	146,320	121,225
商標権	162,843	156,762
ソフトウェア	108,174	98,052
ソフトウェア仮勘定	—	3,800
その他	7,291	12,665
無形固定資産合計	424,629	392,505
投資その他の資産		
投資有価証券	267,152	364,795
敷金及び保証金	294,688	300,880
繰延税金資産	479,824	464,225
その他	98,521	111,893
貸倒引当金	△36,296	△36,296
投資その他の資産合計	1,103,890	1,205,498
固定資産合計	2,475,704	2,591,964
繰延資産		
株式交付費	1,146	—
その他	1,967	1,630
繰延資産合計	3,113	1,630
資産合計	8,045,653	8,072,091

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成30年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	1,328,070	1,502,997
リース債務	10,457	10,534
未払金	316,925	402,273
未払法人税等	164,545	87,152
預り金	467,628	434,281
賞与引当金	239,611	109,148
役員賞与引当金	37,225	5,075
返品調整引当金	48,827	50,060
売上割戻引当金	157	325
その他	126,820	80,095
流動負債合計	2,740,268	2,681,945
固定負債		
リース債務	47,749	42,779
退職給付に係る負債	697,580	729,956
役員退職慰労引当金	155,246	166,355
その他	6,389	8,070
固定負債合計	906,967	947,162
負債合計	3,647,235	3,629,107
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,920,579	1,920,579
資本剰余金	977,579	977,579
利益剰余金	1,500,259	1,544,827
自己株式	—	△1
株主資本合計	4,398,417	4,442,983
純資産合計	4,398,417	4,442,983
負債純資産合計	8,045,653	8,072,091

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年9月30日)
売上高	7,646,285	7,385,910
売上原価	5,624,076	5,562,217
売上総利益	2,022,208	1,823,692
返品調整引当金繰入額	—	1,233
返品調整引当金戻入額	19,632	—
差引売上総利益	2,041,841	1,822,459
販売費及び一般管理費	1,551,401	1,585,295
営業利益	490,439	237,163
営業外収益		
受取利息	7	7
受取配当金	582	582
持分法による投資利益	602	—
受取賃貸料	870	870
業務受託手数料	7,331	5,654
諸預り金戻入益	2,153	1,910
助成金収入	2,000	300
雑収入	1,944	1,690
営業外収益合計	15,492	11,016
営業外費用		
支払利息	658	415
株式交付費償却	3,438	1,146
持分法による投資損失	—	6,017
為替差損	935	725
雑損失	86	74
営業外費用合計	5,119	8,380
経常利益	500,812	239,800
特別利益		
固定資産売却益	844	—
特別利益合計	844	—
特別損失		
固定資産除却損	6,054	0
特別損失合計	6,054	0
税金等調整前四半期純利益	495,601	239,800
法人税、住民税及び事業税	155,051	66,325
法人税等調整額	4,654	15,598
法人税等合計	159,705	81,924
四半期純利益	335,895	157,875
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	335,895	157,875

(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年9月30日)
四半期純利益	335,895	157,875
四半期包括利益	335,895	157,875
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	335,895	157,875
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	495,601	239,800
減価償却費	70,214	69,680
無形固定資産償却費	43,131	35,015
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△2,549	△2,120
のれん償却額	24,008	25,094
受取利息及び受取配当金	△590	△590
敷金及び保証金償却	3,047	3,259
株式交付費償却	3,438	1,146
持分法による投資損益(△は益)	△602	6,017
支払利息	658	415
有形固定資産除売却損益(△は益)	6,054	0
無形固定資産除売却損益(△は益)	△844	—
出資金償却	662	1,499
差入保証金の増減額(△は増加)	△71	△18
長期前払費用の増減額(△は増加)	△3,389	—
長期前払費用償却額	349	356
売上債権の増減額(△は増加)	△609,217	△233,446
たな卸資産の増減額(△は増加)	△92,183	△143,330
その他の流動資産の増減額(△は増加)	△76,110	△59,672
仕入債務の増減額(△は減少)	381,565	174,927
その他の流動負債の増減額(△は減少)	△31,295	△102,754
その他の固定負債の増減額(△は減少)	859	1,680
賞与引当金の増減額(△は減少)	△48,100	△130,462
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△13,521	△32,150
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	31,248	32,375
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	10,916	11,109
その他	△0	△4
小計	193,281	△102,170
利息及び配当金の受取額	5,470	10,910
利息の支払額	△658	△415
法人税等の還付額	23,708	24,657
法人税等の支払額	△213,789	△165,778
営業活動によるキャッシュ・フロー	8,012	△232,796

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年9月30日)
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△2,500	△3,000
有形固定資産の取得による支出	△75,866	△6,558
有形固定資産の売却による収入	—	99
無形固定資産の取得による支出	△41,557	△29,439
無形固定資産の売却による収入	1,620	—
投資有価証券の取得による支出	△20,060	△113,980
出資金の払込による支出	△6,048	△15,318
出資金の回収による収入	2,170	1,157
貸付けによる支出	△2,999	—
貸付金の回収による収入	50	—
敷金及び保証金の差入による支出	△8,922	△9,432
敷金及び保証金の回収による収入	344	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	△153,769	△176,472
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
配当金の支払額	△113,308	△113,308
リース債務の返済による支出	△15,389	△4,893
自己株式の取得による支出	—	△1
財務活動によるキャッシュ・フロー	△128,697	△118,203
現金及び現金同等物に係る換算差額	0	4
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△274,453	△527,468
現金及び現金同等物の期首残高	2,673,968	2,848,500
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,399,515	2,321,031

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を第1四半期連結会計期間から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

## （セグメント情報）

## I 前第2四半期連結累計期間（自平成29年4月1日至平成29年9月30日）

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	メディア・ コンテンツ	映像制作	計		
売上高					
外部顧客への売上高	7,002,640	643,644	7,646,285	—	7,646,285
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	14,220	14,220	△14,220	—
計	7,002,640	657,865	7,660,506	△14,220	7,646,285
セグメント利益	478,241	27,838	506,079	△5,267	500,812

(注) 1. セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去等△5,267千円であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

## II 当第2四半期連結累計期間（自平成30年4月1日至平成30年9月30日）

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	メディア・ コンテンツ	映像制作	計		
売上高					
外部顧客への売上高	6,808,403	577,507	7,385,910	—	7,385,910
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	32,095	32,095	△32,095	—
計	6,808,403	609,602	7,418,005	△32,095	7,385,910
セグメント利益	250,875	27,638	278,514	△38,714	239,800

(注) 1. セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去等△38,714千円であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。